

腹部

1. 腹部エコー 超音波 ※要予約（当日検査前の食事制限があります） 5,300 円

肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、脾臓などの腹部臓器に関して、ゼリーをおなかにぬって器械でなぞるように描出して検査を行います。痛みなどのない簡単な検査です。脂肪肝、慢性肝炎、肝硬変、胆石、胆嚢ポリープ、腎結石などを見ることができます。

2. 上腹部・骨盤 CT 造影なし ※要予約（当日検査前の食事制限があります） ※妊娠時不可 15,000 円

CTを使って断層撮影を行い、腹部臓器に関してエコーより精度が高く検査できます。特に皮下脂肪が厚い、便秘などでガスが溜まりやすい方ではエコーでの描出が悪い為CTをお勧めします。またすい臓が特に気になる方はエコーよりCTをお勧めします。胃がんや大腸がんは大きなものしかチェックできないため、カメラを併用することをお勧めします。

3. 胃バリウム検査 ※要予約（当日検査前の食事制限があります） ※妊娠時不可 14,000 円

バリウムと空気（空気の出る薬を使います）を飲んでいただき、食道から胃、十二指腸までを表面の凸凹で描出し、その撮影をする事によってチェックします。特に症状のない方や若くてまだ胃がんの危険度の低い方にお勧めします。しかし**症状がある方、50歳以上や慢性胃炎やピロリ菌感染を指摘されている方（胃がんの危険度が高い）、喫煙やアルコールの多い方（食道がんの危険度が高い）、誤嚥などを起こしやすい方（バリウムが気管に残ってしまう事があります）、便秘のひどい方（終了後下剤をお出ししていますが大腸に残って腹痛の原因になる事があります）、胃がんのご家族がいる方**などはむしろ**胃カメラ**をお勧めします。

4. 胃カメラ ※要予約（当日検査前の食事制限があります） 14,000 円

口からカメラを使って食道から胃、十二指腸までを直接観察し、粘膜のあれや炎症、腫瘍などの状況を観察します。今までに胃・十二指腸潰瘍や胃炎などのあった方、胃ポリープを指摘された事のある方、上腹部痛や上腹部違和感、繰り返す胸部痛や胃酸の逆流症状などの消化器症状のある方、貧血のある方、胃がんのご家族がいる方などにお勧めします。

基本の胃カメラ検査

- 胃の動きを止める為の前処置注射（ブスコパン又はグルカゴン）含む。
…基礎疾患によっては、副作用の問題で不使用となることもあります。
- 胃カメラを使った観察を含む。

感染症予防の為の採血 1年以内、他施設のデータ持参も可能

感染症採血（Hbs 抗原、HCV 抗体、梅毒検査）が必要。

+2,500 円

当院ではご希望により鎮静剤の注射（ドルミカム+アネキセート）を使用した胃カメラを行うことが可能です。

その場合は**別途 鎮静剤の費用 3,500 円**がかかります。また鎮静後は薬が切れるまで1~2時間程度病院でお休みしていただく事があります。車や自転車などの運転での来院は行わないでいただく必要があります。

組織によるヘリコバクターピロリ菌培養検査

4,000 円

胃組織をとってピロリ菌の検査を行います。よりわずかなピロリ菌も検出できます。

※検査結果は、3週間ほどかかります。

組織生検病理検査 腫瘍等に対し組織をとって、どういう状態か顕微鏡で調べる **+保険診療**

- 医師が必要と判断した場合は組織をとって調べることがあります。
- 組織をとった場合、その日一日食事・飲酒は刺激物を避けていただきます。
- その場合は、組織生検の部分だけは保険を使って検査を行いません。
- 費用は、組織の箇所や費用負担割合によって異なります。

別途 保険の負担費用 約 2,000 円~7,000 円がかかります。

生検検査を希望されない場合は、事前に内視鏡看護師にお伝えください。

※検査結果は、10日間かかります。

5. 血液検査 ヘリコバクターピロリ菌検査（HP-IgG）

2,500 円

ペプシノゲン濃度（PG）

両方で 4,000 円

ピロリ菌は胃・十二指腸潰瘍及び一部の胃がんの原因になります。また血中ペプシノゲンは胃粘膜萎縮の程度を反映し、胃粘膜が萎縮すると胃がん発生の危険度が増すと考えられています。胃の調子が悪いと感じる方、慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍に架かったことのある方、ご家族に胃がんの多い方にお勧めします。

胃がんにはピロリ菌感染が深くかかわりピロリ菌感染のない人（HP-IgG 陽性）から胃がんが発生することは少ないと言われていました。また、ピロリ菌感染によって胃粘膜の萎縮が進むほど（PG陽性）、胃がんが発生しやすくなります。これをもとにして、胃がんリスク ABC 分類は、血液検査で胃がんになりやすい状態かどうかを A~D 群の 4 群に分類する新しい検診法です。胃がんリスク ABC 分類はがんそのものを見つける検査ではありません。B~D 群の方は、特に胃がんの存在を確かめる精密検査（内視鏡検査等）が必要です。

次ページ表参照

総合判定	異常なし	要精密検査		
	A 群 正常な胃の状態	B 群 ピロリ菌が感染	C 群 炎症・萎縮が始まる	D 群 胃の萎縮
ペプシノゲン検査(PG) 胃粘膜萎縮の程度	陰性	陰性	陽性	陽性
ヘリコバクター・ピロリ(Hp) ピロリ菌感染の有無	陰性	陽性	陽性	陰性
胃がん発生リスク	非常に低い	やや高い	高い	非常に高い
胃がん発生頻度／年	ほぼ0	1,000人に1人	400人に1人	80人に1人

但し、ピロリ菌陽性の場合、ピロリ菌除菌（抗潰瘍剤 1 種類と抗生物質 2 種類を 1 週間飲んでピロリ菌を退治する）を保険で行うためには、必ず胃カメラでの慢性胃炎の診断が必要になりますので胃カメラも行うことをお勧めします。

6. 便潜血検査

1 回法 700 円 又は 2 回法 1,000 円

7. 血液検査 腫瘍マーカー

腫瘍マーカーとは種々のがんで上昇する血液のデータで、がんのスクリーニングを行うことが出来ます（値が低くてもがんではないとはいえませんが、定期的に経過を見て上昇したりすることでがんの発見につながる事があります）。複数の組み合わせも有効です。以前癌を指摘された事のある方、ご家族に癌の多い方などにお勧めします。基本的には画像診断（カメラ、エコー、CT）などと組み合わせることをお勧めします。

消化管がん（CEA、CA19-9）

3,000 円

肝臓がん（AFP、PIVKA II）

3,000 円

同時に肝炎ウイルス（B 型・C 型肝炎）の測定をお勧めします。

両方で 5,000 円

すい臓がん（CA19-9、DUPAN II）

3,000 円

おすすめ 組み合わせ検査

胃がんセット「4. 胃カメラ」+「7. 血液検査」+「8. (CEA、CA19-9)」 ※要予約 21,000 円～

肝臓がんセット「1. 腹部エコー」+「8. (AFP、PIVKA II)」 8,300 円

「2. 上腹部・骨盤 CT」+「8. (AFP、PIVKA II)」 ※要予約 18,000 円

…感染症セット（B 型肝炎、C 型肝炎）の併用をお勧めします。 20,000 円

膵臓がんセット「2. 上腹部・骨盤 CT」+「8. (CA19-9、DUPAN II)」 ※要予約 18,000 円

※要予約…事前に予約が必要な検査です。

※妊娠時不可…検査に放射線を使用します。妊娠の可能性があると検査は出来ませんので、ご了承ください。